

2019. JANUARY

広報 JAだてし



謹賀新年



組合員皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます

Japan Agricultural cooperatives

発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 TEL0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>

JA 伊達市

検索



NO.615

1 月号



新年挨拶

伊達市農業協同組合

代表理事
組合長 佐藤 哲



新年明けましておめでとう
ございます。

組合員の皆様方には、ご家族
共々に新年を迎えられました
ことと、心からお慶び申し上
げます。また、昨年につきま
しては、農協事業運営に対し
指導とご協力、ご支援を賜り
ましたことに、心から感謝申
し上げます。

新春を迎えるにあたり、昨
年を振り返りますと春先から
の低温と6月から7月中旬に
かけての長雨により米、麦の
分けつが進まず作柄は低収量
低品質となっていました。
野菜、花、ビート、牧草、デ
ンコーンも同様です。更に、台
風21号の強風、9月6日の北
海道胆振東部地震とそれによ

る全道停電（ブラックアウト）
によって北海道は未曾有の被
害を受けました。当農協も例
外ではありません。震源地に
近い農業関係者は勿論のこと
多くの損害を受けられました
組合員の皆様には心からお見
舞い申し上げる次第です。
このことからその被害を少
しでも補填しようとホクレン
は総額40億円の対策を打ち出
しました。系統の上部団体と
してその役割を遺憾なく発揮
したところです。改正農協法
が施行され、農協改革が進む
中、明るい話題を語れる平成
31年になることを願いつつ中
期経営計画の実現に向け役職
員一丸となって進めてまいり
たいと存じます。

異常気象が続く中でも創意
工夫をし、農家と農協が一体
となって直面する問題を解決
し、組織の力が発揮できれば
すばらしい一年を迎えること
が出来ると思っております。
今後とも組合員の皆様の
ご協力・ご支援をお願い申し上
げますと共に、どうか新しい
年が組合員の皆様にとって最
良の年でありますことを、祈
念申し上げ年頭のご挨拶と致
します。



理 事
舟迫 昌光



理 事
近井 一夫



理 事
矢内 陽條



副組合長
松本 喬一



監 事
石橋 寿一



理事(学識経験)
草野 英男



理事(学識経験)
上田 孝弘



理 事
唐澤 健康

新しい年が皆様にとって佳き年で
ありますようお願い申し上げます
本年もどうぞよろしくお願い致します

平成三十一年元旦

謹賀新年





新年によせて

伊達市農業協同組合

代表監事 廣瀬啓悦



新年明けましておめでとう
ございます。

組合員の皆様には平成31年の新春をご家族共々、ご健勝で新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃から農協事業にご支援、ご協力頂きありがとうございます。本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

昨年西日本豪雨、国内最高気温の更新、大型台風が発生や本道接近など大きな自然災害が発生しました。中でも9月6日未明、胆振東部での大規模な地震によって発生した土砂災害で41名の尊い命を奪い、多くの家屋や農地が被災しました。亡くなられた方々に心からご冥福をお祈り

すると共に被災された方々にお見舞い申し上げます。

胆振管内ということで組合員の皆様の中には親戚や知人の方も多いのではないかと思ひます。地震発生直後の停電「ブラックアウト」により全道ほとんど全ての機能が停止するという想像をはるかに超えた事態となり、大変な苦労となったと共に大きな被害に及んだ方もいると思ひます。JAにおいても業務停止状態と店舗における生鮮食品の廃棄により500万円を超える損失が発生する大きな災害となりました。発生時の危機管理体制の難しさと合わせ備えあればうれいなしの言葉の大切さを見せつけられた気が

します。

当地区は有珠山噴火が近い将来発生する可能性があります。胆振東部地震を教訓に、災害時危機管理における体制強化を監事会としてお願いしたところでございます。そのようなかでの昨年の営農については不順な天候が続き、農作業の遅延など大変苦労されたことと思ひます。経営形態や作物別には不作の作物もありました。停電によって冷却できなくなった生乳は廃棄処分となり大きなダメージを受けましたが総じて順調な年になりました。

さて、平成28年に改正農協法が施行され、政府の定める「農協改革集中推進」期限が

本年5月であることから、昨年8月に組合員説明会を開き信用事業の今後について信連への譲渡等詳細を説明させていただきました。理事会としてシミュレーションを繰り返し実施し営農に欠かせないクミカン、貯金、融資について今までと同様の総合農協での事業展開を選択いたしました。

また、第70回通常総代会で議決いただいた増資計画についても、皆様の付託に対応できるJAとして資本増強は大前提となりますので、組合員の皆様にはご理解を切に願うところでです。

昨年は当JA設立70周年の節目の年となりました。先人



理事 遠藤 活典



理事 小野 順孝



監事(員外) 山崎 博司

の方々が設立し、多くの先輩の皆様が幾多の困難を乗り越えてきたこの70年間に感謝申し上げますと共に、今後の更なる発展を念じ、本年の営農が皆様にとって最良の年になることを祈念し、新年の挨拶といたします。





平成31年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔章



組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げる次第です。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが7月の豪雨や台風21号により農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊

い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと米は、作況指数が90の「不良」小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度とも概ね平年並み、生乳は胆振東部地震の影響と、今後

は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

国際貿易交渉については9月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」(TAG)の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めています。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の

加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆さんのご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議しております。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この3年間の実践期間のうちに、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2021年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」の実現に向けて、JAグループ一丸となつて、大会決議事項の実践を通じて自己改革を進めてまいりたいと考えております。

結びになります。今年

す。

亥には、「無病息災」や「安定した状態で始動を待つ準備期間」の意味があることとあります。

今年はこの亥年にあやかり災害がなく、そして組合員の苦労が報われる実り多い豊稔の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。



グリーンセンター Tel.23-6115



新年のご挨拶

胆振農業改良普及センター

所長 北島



平成31年の年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新たに輝かしい新春を組合員の皆様方には、ご健勝にて穏やかに迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃の普及事業に對しまして関係機関の皆様はもとより、組合員の皆様から温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成30年を振り返りますと、冬期間の積雪はやや多いものの、融雪は早く春耕起は順調に進みました。しかし、気温の極端な振れや集中豪雨・暴風雨と日照不足に繰り返し見舞われ、9月には北海道胆振東部地震により胆振

管内は未曾有の被害を受け改めて自然の猛威を痛感させられた一年でありました。

作柄につきましては、水稲・畑作物・野菜類・飼料作物とも平年作を下回り、その要因を鑑みたとき、西胆振の穏やかな気象と恵まれた観光資源に恩恵を受けながらも、普段からの備えを怠ってはいけないと思ひ起こさせる年でもありました。

今日の農業を取り巻く情勢は、国内においてはライフスタイルの変化を背景に、農村の風景や文化に高い関心を寄せる一方、本物志向な食へのこだわりが情報過多な中で多様化してきています。また、国外観光客の行動様態が成熟化し

観光拠点を軸にインバウンドが広がりを見せつつあります。更に生産環境では農業ICTの活用、GAP認証による生産管理、収入保険制度の新設など、生産構造が大きく転換する可能性をはらんでいます。

国際情勢を振り返るとTPP11や日欧EPA発行による農業基盤への大きな変動を控え、多角的な経営対策が求められています。後に振り返ったとき、まさに大きな転換点となる予感をはらんでいます。

胆振農業改良普及センターでは、西胆振地域の農業を支える多様な担い手の育成、多様化する食事情に対応した生産力の強化、高付加価値化を創出する農業・農村作りを基

謹賀新年

昨年中は格別なるお引き立てを頂きましたことを厚くお礼申し上げます。

尚、本年も変わらぬご愛顧の程お願い申し上げます。職員一同



- 〈管理 部〉
- 管理課・経理課
- 〈信用 部〉
- 金融課・営農融資課
- 共済課
- 〈営農生産部〉
- 農産課・畜産課
- 青果課・営農指導課
- 〈購買 部〉
- 生産資材課
- 農機燃料自動車課
- 〈生活 部〉
- 店舗課
- 〈内部監査室〉
- 登別支所

本課題とし、関係機関の皆様と連携しながら、「地域の目となり耳となり」「農業者のそばに立ち」「地域の知恵袋」となるよう、地域農業の維持・発展を目指して活動を進めて参ります。

最後に、本年が皆様にとって稔り多き年となりますようご健勝を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



おかげさまで44年…

新春
華秀苑

大総合展

◇主催/Aコープチェーン・北海道 ◇後援/ホクレン ◇協賛/華秀苑株ダイカ

と き/平成31年 1月15日(金)～28日(月)

【営業時間: AM9:00～PM9:00 28日は午前中まで】

ところ/登別グランドホテル 3階大会場

バス時刻等は農協係員がご案内致します。

きもの・婦人服・宝飾の祭典

【展示品】コート・バッグ・メガネ・オーダー靴
・ウィッグ・健康寝具

ご参加者特典

- 登別グランドホテルに1泊ご優待致します。
宿泊費の一部をご負担いただきます。(当日会場にて)
- 宿泊の方…7,000円(金・土・日、3日とも)
※通常3～4人で1部屋です。(2人部屋もご用意できます)
- 日帰りの方…無 料

- 会場までバスにて無料送迎致します。
 - 70,000円(税別)以上お買い上げの方に負担金全額返金。
 - 夕食バイキング・『須藤圭子』歌謡ショー・お楽しみ大抽選会。
- ご購入予定商品のある方は、是非この機会をご利用ください。



★参加について詳しくは「くみあいマーケット」にお問い合わせ下さい。

◎問い合わせ期限 平成31年1月18日(金)まで TEL 0142-23-5751 (担当 岩井)

日帰りの方、自家用車の方は期間中ご都合の良い日をお申し付け下さい。

年始業務日程

休業日

区 分	1日(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)
金融・共済	本所貯金・共済業務			平常		
	登別本所貯金・共済業務			平常		
	本 所 A T M			8:30～ 17:00		
	登別支所ATM			8:30～ 17:00		
クミカン窓口						
マーケット本店			9:30～ 17:00	9:30～ 17:00	平常	平常
グリーンセンター						
農機燃料自動車センター						
受精センター(生乳検査)	平常	平常	平常	平常	平常	平常
1月7日(月)より、全業務平常営業となります。						

地区別組合員懇談会日程

日	時	地区名	場 所
15日(火)	10:00～	黄金地区	は ま な す 館
	13:30～	稀府地区	中稀府会館(旧農村婦人の家)
16日(水)	9:30～	東 地 区	未 来 館
	13:30～	中央地区	本 所 2 F 会 議 室
17日(木)	9:30～	関内地区	関 内 福 祉 会 館
	13:30～	長和地区	ふ れ あ い 館
18日(金)	10:00～	室蘭地区	石川町地域交流センター
	13:30～	登別地区	登別支所2F会議室
19日(土)	9:30～	有珠地区	白 鳥 館
	13:30～	全 地 区	本 所 2 F 会 議 室